

1 第1回専門部会の意見

1-1 今後のスケジュールについて（前回資料1）

意見	対応・回答（前回）	対応・回答（今回）
専門部会のスケジュールについて、都市計画 MP と合わせ、第3回目も想定されるか。	想定する。	—

1-2 中間評価の結果について（前回資料2）

意見	対応・回答（前回）	対応・回答（今回）
通所訪問系の高齢者福祉施設が14施設減少している理由を教えてください。また、障害者福祉施設が増加している要因も突き止めて欲しい。誘導施設は地区別の差が現れ始めている点に留意が必要である。	次回までの宿題としたい。	増減の考察は資料3のとおり。
計画策定時点は人口 500mメッシュで粗かったが、100mメッシュで分かることが増えてきた。100mメッシュを活用して分析を進めて欲しい。	—	今後の検討に活用したい。

1-3 居住誘導区域の見直しについて（前回資料3）

意見	対応・回答（前回）	対応・回答（今回）
準工業地域にかかる工業系土地利用の1ha以上のエリアを除外しているが、1haの根拠を教えて欲しい。	愛知県の「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」に基づく「大規模行為届出制度」の届出対象行為の面積にかかる基準を準用している。	—
都市計画MPで、住宅地の魅力や価値向上を議論している中で、現行の立地適正化計画では、浸水深2m以上の区域を居住誘導区域から除外しているにもかかわらず、今回の改定でその基準を3mに緩めるとも受け取れる安全軽視の考え方が理解できない。	次回までの宿題としたい。	洪水及び高潮による浸水想定区域について、現況のハザード情報をもとに改めて分析・検討を行った。（資料4にて説明）

1-4 誘導施設の見直しについて（前回資料4）

意見	対応・回答（前回）	対応・回答（今回）
新たに位置づける施設は全て増設するという意味か。八幡地区は、今後ニーズが高まってくると思われるが位置づけはないのか。	新たに位置づける施設については、既存の場所での建て替えを基本に、維持や拡充を図っていくことを想定している。	—
誘導施設の位置付けについては、補助制度の活用を見込んでいることを説明された方が分かりやすい。	—	今後の説明の参考とする。
小中学校を誘導施設に位置づけることは良いことである。市内の小中学校の児童数は、どの程度か。将来統廃合の必要があるか。	現状、すぐに小中学校の統合は想定されていない。小中学校の児童数に関するデータは次回提示する。	小中学校の児童数に関するデータは資料5のとおり。
誘導施設の見直しについて、整備予定があるからという理由は良くない。理念や必要な理由を記載いただきたい。	—	本市の誘導施設の設定に関する基本的な考え方を資料5に追加した。